

リカレント教育とは

■ 定義

「リカレント(Recurrent)」とは「繰り返す」「循環する」という意味の英語です。リカレント教育とは、「学校教育」と「就労(社会人生活)」を交互に繰り返す」という考え方が基本となっていて、一度学校を卒業して就職した後も、必要に応じて何度でも「学び直し」をする仕組みを意味しています。

■ 背景

これまでの教育モデルは「若い時期に学び終えて → その後は働き続ける」という流れが一般的でした。しかし、技術革新が急速に進み、社会や働き方が大きく変化する中で「一度学んだ知識では足りない」時代が到来しました。生涯にわたって学び続けることで、常に新しいスキルや知識をアップデートする必要が生まれています。

■ 日本での推進

日本でも少子高齢化・働き手不足・デジタル化推進などの背景から地方創生のためにも政府や自治体がりカレント教育を積極的に支援しています。社会人大学院や専門講座、オンライン学習、企業研修など、多様な形態で提供されています。

■ 目的

①個人のキャリア形成・スキルアップ

→ キャリアの転換や専門性の強化、新しい分野への挑戦を支援。

②企業や地域社会の競争力向上

→ 最新知識を持った人材が地域や組織に貢献し、イノベーションを推進。

③持続可能な社会の実現

→ 高齢化・人口減少社会でも活躍できる人材を育て労働生産性を高め、社会全体の活力を維持。

リカレント教育は「何歳になっても学び直せる、新しい時代の教育モデル」

リカレント教育の範囲(イメージ図) ※1

リカレント教育

社会変化への対応や自己実現を図るための以下①～③を内包した社会人の学び直し

①リスキリング

時代のニーズに即して職業上
新たに求められる能力・スキルを身につけること

②アップスキリング

現在の職務を遂行する上で求められる
能力・スキルを追加的に身につけること

③ 職業とは直接的には結びつかない技術や教養等を身につけること

※1: 第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理(令和4年8月)より作成